

レベル4までに必ず避難を

避難情報は、5段階の警戒レベルを使ってお知らせします。レベル3で高齢者などは避難、レベル4で全員避難と覚えてください。



■表1 避難情報

警戒レベル	避難行動	避難情報など
5	すでに命が危険な状況。すぐに安全を確保	緊急安全確保
4	危険な場所から全員避難	避難指示
3	高齢者・障がい者・乳幼児やその支援者は避難。その他の人は避難準備	高齢者など避難
2	避難に備え、防災ガイドブックで避難行動を確認	・大雨注意報 ・洪水注意報
1	最新情報に注意	早期注意情報

警戒レベル3・4・5 → 市が発令
警戒レベル1・2 → 気象庁が発令

もちろん無料のときの情報収集

事前に自分に合った情報の入手方法を選んでおきましょう。

地上デジタル文字放送

テレビのチャンネルをKBC「1ch」に合わせてリモコンの「dボタン」を押すだけ。インターネット環境が無くても、最新情報を見ることができます。

【問】市総務課 (☎77・8152)

Twitter

市から、災害時の緊急情報をお知らせします。

【問】市総務課 (☎77・8152)



第1次避難所(自主避難施設)など

施設名称	住所	電話
市民文化会館	上宮永町 43-1	73・7777
柳河ふれあいセンター	新町 5-2	72・5478
城内コミュニティ防災センター	本町 53-1	73・9556
矢留うぶすな館	矢留本町 150	73・8398
柳川農村環境改善センター	下宮永町132-1	73・6793
有明まほろばセンター	有明町 1490	73・6792
就業改善センター	久々原 126-3	73・6790
蒲池農村環境改善センター	矢加部 251-3	73・6791
大和生涯学習センター	栄 231	76・1116
大和漁村センター(中島コミュニティセンター)	中島 385	76・0864
六合コミュニティセンター	六合 1677	76・5822
大和コミュニティセンター	明野 426-1	76・3269
豊原コミュニティセンター	豊原 138-1	73・6767
血垣コミュニティセンター	栄 1495-3	76・1519
有明コミュニティセンター	血垣開 560-1	76・3173
三橋生涯学習センター	正行 431-2	73・4489
矢ヶ部コミュニティセンター	柳河 431-1	74・2982
ニッ河コミュニティセンター	木元 57	74・2909
垂見コミュニティセンター	垂見 1583-2	72・5230
中山コミュニティセンター	中山 794-2	63・5524
藤吉コミュニティセンター	高畑 256	74・6466
NEW このゆびとまれ	上宮永町 22-7	72・7706
NEW 市民体育館	本町 53-1	74・1221

妊婦に対応した避難所、ペットと一緒に避難できる避難所を設置します。開設するタイミングは、他の1次避難所と同じで警戒レベル3に達したときです。

□乳幼児と保護者・妊産婦専用避難所(このゆびとまれ)

避難するときは、母子手帳やミルク、哺乳瓶、おむつなどを持ってきてください。また、乳幼児には必ず保護者の付き添いが必要です。

□ペット同伴専用避難所(市民体育館)

避難するときは、ケージ、糞尿袋、ペットシートやペットフードなどを持参してください。ケージに入らない大型動物や危険な動物は受け入れられません。避難所では、決められた場所のみペットの世話ができます。

5月15日に実施した防災訓練・水防演習で河川の氾濫を想定して土のうを積み上げる洲上省治団長率いる市消防団。詳しく9ページに掲載



いつどこで起こるか分からない 風水害に備えよう



梅雨前線や台風による大雨、洪水などの災害が発生しやすくなるこれからの季節。こうした風水害は、毎年発生していて、誰もが被災する可能性があります。昨年8月には、1週間で年間降水量の約半分もの雨が降り、観測史上最多雨量を更新。農業をはじめ水路や道路などに、大きなつめ痕を残しました。いつどこで起こるか分からないのが災害。「備えあれば憂いなし」とことわざにもあるように、災害に備えて日ごろから準備をしておくことが重要です。

【問】市総務課安全安心係 (☎77・8152)

警戒レベルごとの避難行動を確認

風水害の危険性が高くなったら、防災無線を利用した屋外放送や、携帯電話の緊急速報メールで避難情報をお知らせします。避難情報は、5段階の警戒レベルを使った「緊急安全確保」「避難指示」「高齢者など避難」など(左上表1)。警戒レベルによって皆さんがとるべき避難行動が決まっています。実際に災害が起こると、多くの人が焦って、冷静な判断ができません。警戒レベルごとにどのような避難行動をとるべきか、日ごろから考えておくことが大切です。

防災ガイドブックを読んで万が一に備えよう

市では、市民の皆さんが災害時にどう対応すればよいのかを記した「防災ガイドブック」を作成し、全世界へ配布しています。その中には情報収集の仕方をはじめ、非常時持出品のリスト、ハザードマップ(浸水想定図)などを掲載。この機会にもう一度確認し、災害へ備えましょう。同ガイドブックは、市総務課や公式サイトで入手できます。

新たに赤ちゃんやペットに対応した避難所を設置

今年度から要望が多かった乳幼児や